

あさの
安芸国広島浅野家家中

あまこどうちく
尼子道竹資料

仮目録

広島県立文書館

平成 28 年 (2016) 6 月

凡 例

- 1 本目録には、安芸国広島浅野家家中 尼子道竹資料を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は (201206) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 201206/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“o”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を採用した。

作 成 原文で読めないものは□とした。資料に授受関係のあるものは→で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

安芸国広島^{あさの}浅野家家中 尼子道竹^{あま ことちく}資料（請求記号 201206）

広島藩士尼子道竹に宛てた広島藩士等の書状 24 通。

出 所 不明

出所地名 不明

分 量 1 点（1 巻）／25 データ件数

収蔵までの経緯 横浜市内の骨董屋から譲渡先の相談を受けた横浜開港資料館の職員を通じ、平成 24 年 7 月に広島県立文書館へ寄贈された。

年 代 17 世紀末から 18 世紀初頭

歴 史 尼子道竹（1658～1724）は医学を独学し、徳島で開業した後、貞享年間（1684～88）に広島藩主浅野光晟に徴されて広島藩医となり、元禄元年（1688）に藩主綱長に 300 石、御側医師として仕えた。宝永 4 年（1707）に麻疹が流行したとき、その予防・治療法を説き「麻疹類要」を著わす。詩文もよくし、木下順庵や室鳩巢とも交わった。享保 9 年 8 月 6 日に 67 歳で死去。著作はほかに「本草能毒」がある。道竹には子がなく尼子家は断絶したが、徳島にあった景久の弟の田島信喬（養適）の子勝喬（玄格）が道竹の縁をたどって広島に來り、享保 17 年に新知 200 石、御側医師となった。

内 容 尼子道竹宛ての書状 24 通。差出人は、湯川五兵衛、田次宮橋、今中一郎兵衛、家所杳、藤田弥一左衛門、和田郷大夫、団弥五右衛門、池谷長右衛門、木全忠蔵、八田谷伝蔵、林与三右衛門、寺西九太夫書状、池谷七右衛門、中十郎左衛門、石井百助、岩本弥三郎、三原屋新三郎、小鷹狩源内など。大半は広島藩士や広島城下商人である。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

参考文献 『広島県人名事典』（芸備先哲）、『芸藩輯要』

（2014.7.28 記述／西村 晃）

201206/1				卷子・1巻(24通)
[尼子道竹宛書状]				
201206/1/1				
○[湯川五兵衛書状](病人薬調合願)	. 4.10	湯川五兵衛→尼子道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/2				
○[田次宮橋書状](有救今以て帰り申さず、逢い申したく今日は滞留)	. 7. 1	田次宮橋→道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/3				
○[今中一郎兵衛書状](木原専右衛門様の書状拝見、貴様御弟子の其潭は石州の何と申すところへ居られ候哉)	. 6.16	今中一郎兵衛→尼子道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/4				
○[家所空書状](山亭へのお招き期日につき回答)	. 8. 4	家所空→尼子道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/5				
○[藤田弥一左衛門書状](病人様体につき)	. 5. 1	藤田弥一左衛門→尼子道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/6				
○[和田郷大夫書状](私気分寒熱の気味もなし)	. 2.21	和田郷大夫→尼道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/7				
○[某書状](河原氏御病人崎快方ニ相聞申候)	. 6. 7		切紙・(1通)	
201206/1/8				
○[団弥五左衛門書状](昨日の御礼)	.10.16	団弥五左衛門→尼子道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/9				
○[池谷長右衛門書状](明日愈々竹本氏山荘へ参るべし)	. 9.23	池谷長右衛門→尼口斎様	切継紙・(1通)	
201206/1/10				
○口上(母病気順快)	.10.21	木全忠蔵→尼子道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/11				
○五月七日夜中(病人食事・病状)	. 5. 8		切紙・(1通)	
201206/1/12				
○[八田谷伝蔵書状](様体書差上候)	. 17巳刻	八田谷伝蔵→道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/13				
○[林与三右衛門・寺西九太夫書状](芙蓉之事申進候処御留守より差し越され候分にて用事相達候)	. 7. 9	林与三右衛門・寺西九太夫→尼子道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/14				
○[池谷七右衛門書状](明日熊野屋方へ御来臨之儀につき)	.10.27	池谷七右衛門→尼子道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/15				
○[中十郎左衛門書状](拙者気分につき)	. 6.16	中十郎左衛門→尼子道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/16				
○[石井百助書状](笑翁三回忌に野菜一折り御意に掛けられ候段御礼)	.10.27	石井百助→尼道竹様	切継紙・(1通)	
201206/1/17				
○[口等道清書状](明日御山荘へ之儀承知)		口等道清→尼道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/18				
○[岩本弥三郎書状断簡](病人廿五日朝よりの容体)		岩本弥三郎→尼道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/19				
○[新七書状断簡](只七気分快方、女子は少々ふらつき)		新七→道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/20				
○[三原屋新三郎書状](明日熊野屋吉左衛門方へ御出で之儀延引につき)	.10.27	三原屋新三郎→尼道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/21				
○[淡口書状](酒・徳り受納)	. 7.20	淡口→道竹様	切紙・(1通)	
201206/1/22				
○[河合口太夫書状](御見舞御礼と病人容体)	. 6. 7	河合口太夫→尼道竹様	切紙・(1通)	

201206 安芸国広島浅野家家中 尼子道竹資料仮目録

201206/1/23

○〔小鷹狩源内書状〕(御約束仕候潑薬法御書付下
されば忝く存候) . 9.10 小鷹狩源内→尼子道竹様 切継紙・(1通)

201206/1/24

○〔和田口右衛門書状〕(今大夫葉調合願, いさわや
忠兵衛診察願) . 1.18 和田口右衛門→尼子道竹様 切紙・(1通)
